

公益財団法人日本バドミントン協会創立 75 周年記念事業
JOCジュニアオリンピックカップ第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
埼玉県バドミントン協会創立70周年記念事業
埼玉県予選会（ジュニア新人の部）
感染防止対策ガイドライン

令和4年6月7日
埼玉県バドミントン協会中学の部

『第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会埼玉県予選会（ジュニア新人の部）』
開催時の感染防止策について

◎感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

1 大会全般

- ① 参加生徒（選手）は、大会前2週間分の体調を「健康観察記録票」に記録し、健康管理を徹底する。同様に大人（役員・部活動顧問など）も、体調管理に留意し、「来場者健康記録票」に記録する。当日受付時に提出する。
- ② 以下の事項に該当する場合は、大会に参加することができない。（大会当日に書面で確認を行う。）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 陽性者、濃厚接触者に特定された場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 参加生徒を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用する。各自、予備用マスクを持参する。熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す。マスクを外している場合は、至近距離で対面しない。
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。各校消毒液を部として用意する。（その他、各自、携帯用消毒液や携帯用除菌シートを持参するのが望ましい。）
- ⑤ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保する。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑥ ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する。鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉し、縛った上で持ち帰る。

2 会場内

- ① 密閉空間とならないよう常時2方向の窓を開放する（又は定期的に窓を開け外気を取り入れる）等の換気を行う
- ② 通路や階段においての接触を避けるため、会場内の通行方法（左側通行など）を定める。
- ③ 体調不良者は、本部に連絡する。
- ④ 共用の競技用具を使用する場合は、使用前には手洗いをし、使用中には顔をできるだけ触らない。

<トイレ（洗面所）>

- ① 洋式トイレの蓋を閉めて汚物を流す。
- ② ポンプ型石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

<観客席>

- ① 間隔を空けて使用し、対面しない。
- ② 使用后、各校顧問・役員が消毒（消毒用具は本部で保管）を行う。

<競技場>

- ① 周囲との間隔を空けて使用する。
- ② 競技中は、マスクを外しても構わない。

3 今後、社会情勢が大きく変化し、通常の社会生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない。

【参考資料】

『埼玉県中学校体育連盟 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインVer.3』

（令和4年5月10日、埼玉県中学校体育連盟）

『新型コロナウイルス感染症対策に伴う バドミントン活動ガイドライン』

（第2版令和3年2月8日、公益財団法人日本バドミントン協会）

『「新しい生活様式」を踏まえたバドミントン競技の取組みについて』

（令和2年6月14日掲載、随時更新、日本中学校体育連盟バドミントン競技部）